



松本一二美 議員

Q. 親と子が共に育つ 保護者の「1日保育士体験」の実施を!

A. 試験的に実施してみます



ママも保育士になってみませんか

問

保護者が1日保育士を体験する事で、新たな子ども姿を発見し、親としての役割と責任を実感する機会になる。育児に対する視野が広がり、保護者と保育士の相互関係が深まる。親と子が共に育つ「保護者の1日保育士体験」の実施を

答

保健福祉部長

すでに一部自治体で取り組んでいるところもあります。まず、試験的に1箇所を実施し、その状況を見てその後どうするか検討します。

問

保育所に看護師の資格を持った職員の配置を

保育所に看護師の資格を持った職員がいれば、緊急の場合に処置が早いのは勿論、微熱時も適切な判断や対応ができる。緊急時を除き、保護者の負担軽減にもなる。病児後保育にも対応できる。

看護師の資格を持つている方の職場復帰支援にもなる。保護者も子ども保育所も安心で強い。保育所に看護師の資格を持った職員の配置を提案するが、考えは。

答

今のところ 考えていません 保健福祉部長

現在保育所では最低基準以上に保育士を配置しており、既に病児病後児保育を実施していることなどから、新たに看護師を配置することは今のところ考えていません。

問

火災警報器設置の取り組みは

今年5月末までに義務付けられている火災警報器の設置状況はどうか。

集団購入がより安価になるが、購入しても設置は簡単とはいえず、高齢者等、取り付けが難しい方も多い。女性消防団員や見守り推進委員さんなど地域を巻き込んだの推進が必要ではないか。併せて目や耳が不自由な方への取り組みは。

答

地域の協力で 推進に努めます 総務部長

松前町を含む伊予消防管内の設置状況は、昨年

答

12月時点で35.6%です。設置率が低迷していることから、普及啓発に向けたPRに加えて、統括広報委員会で各自主防災活動として共同購入をお願いしています。悪質販売の被害防止になり、地域挙げての防火・防災意識の向上が期待できます。

設置が困難な場合は地域や隣近所、消防団の協力も可能な範囲でお願いしています。障害者の方には、民生委員さんの活動の中でお願いしています。

問

個別妊婦歯科健康診査の実施を

進行した歯周病にかかっている母親からは、歯周病菌が血液を通して子宮に入り、早産や低体重児出産の危険性が約7倍にもなる。喫煙や飲酒よりも影響が大きい。

母子共の健康支援のために、妊婦歯科検診の助成を提案するが考えは。

答

予防啓発を しています 健康課長

母子健康手帳配布時、妊娠中や産後の母子保健について保健指導を行っています。その中で、歯周病対策や妊娠中の口腔ケアなど、歯科健診を受けることを勧めています

また、母子保健事業の中で妊婦や乳幼児を対象に歯科衛生士による歯科相談を実施し、いろいろな機会を通じて歯の健康を守るための助言や予防啓発を行っています。

妊婦の個別歯科健診への公費の助成については、今のところ考えてはいません。

その他の質問

- ◎ 放課後児童クラブの運営について
- ◎ がん検診について
- ◎ 子ども手当について
- ◎ 消費者相談窓口の充実
- ◎ ふるさと納税について